

Copyright PFU LIMITED 2007-2015

このファイルには、本製品をお使いになる前にお読みいただきたい注意事項や、オンライン ヘルプなどに含まれていない最新の追加情報が含まれています。本製品をお使いになる前に、ぜひご一読ください。

・ 高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客さまは本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客さまがハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても株式会社PFUおよびその関連会社は一切責任を負いかねます。

[目次]

1. 動作環境
 2. インストール
 3. アンインストール
 4. 注意事項
-

1. 動作環境

1) CPU

SCSI-2またはUSB 1.1/2.0を装備した、Intel(R) Pentium(R) プロセッサ、およびその互換CPUを搭載したコンピュータ

- 詳しい接続方法や条件などについては、ご使用になるスキャナ装置の取扱説明書等をご参考ください。

2) オペレーティングシステム

ScandAll PRO Lite 対応OS

- Windows(R) 2000 Professional operating system (SP4以降)
- Windows(R) XP Home Edition operating system (SP2以降)
- Windows(R) XP Professional operating system (SP2以降)
- Windows(R) XP Professional operating system x64 Edition
- Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition
- Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition
- Windows Vista(R) Home Basic (32/64bit)
- Windows Vista(R) Home Premium (32/64bit)
- Windows Vista(R) Business (32/64bit)
- Windows Vista(R) Enterprise (32/64bit)
- Windows Vista(R) Ultimate (32/64bit)
- Windows Server(R) 2008 Standard (32/64bit)

- Windows Server (R) 2008 R2 Standard (64bit)
- Windows (R) 7 Home Premium (32/64bit)
- Windows (R) 7 Professional (32/64bit)
- Windows (R) 7 Enterprise (32/64bit)
- Windows (R) 7 Ultimate (32/64bit)
- Windows (R) 8 (32/64bit)
- Windows (R) 8 Pro (32/64bit)
- Windows (R) 8 Enterprise (32/64bit)
- Windows (R) 8.1 (32/64bit)
- Windows (R) 8.1 Pro (32/64bit)
- Windows (R) 8.1 Enterprise (32/64bit)
- Windows Server (R) 2012 Standard (64bit)
- Windows Server (R) 2012 R2 Standard (64bit)
- Windows (R) 10 Home (32/64bit)
- Windows (R) 10 Pro (32/64bit)
- Windows (R) 10 Enterprise (32/64bit)
- Windows (R) 10 Education (32/64bit)

Microsoft SharePoint Server連携対応OS

- Windows Server (R) 2003 R2, Standard Edition
- Windows Server (R) 2003 R2, Standard x64 Edition
- Windows Server (R) 2008 Standard (32/64bit)
- Windows Server (R) 2008 R2 Standard (64bit)

2. インストール

- ・ 管理者権限 (Administrator 権限) のあるユーザー名でログオンしてからインストールしてください。
- ・ CD-ROM/CD-R媒体などで提供されている場合
CD起動時に、表示される<セットアップディスク起動画面>の指示に従って下さい。
- ・ WEB等のネットワークから本ソフトウェアを入手された場合
ScandAllPRO Lite.exeを実行してください。インストールのための画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストールを進めてください。
- ・ インストール時に「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」ボタンを選択してください。
- ・ インストール先のフォルダには、ローカルディスクのフォルダを指定してください。
- ・ ルートディレクトリに直接インストールはしないでください。正常に動作しない場合があります。適当なディレクトリにインストールしてください。
- ・ インストール先のディレクトリは、80 文字を超えないでください。正常に動作しない場合があります。80 文字以内のディレクトリにインストールしてください。
- ・ インストール先のディレクトリ名に下記に示す文字を使用しないでください。
使用するとプログラムが正常に動作しない場合があります。
/ ; : , . * ? " < > |

3. アンインストール

- ・ 管理者権限 (Administrator 権限) のあるユーザー名でログオンしてからアンインストールしてください。
- ・ アンインストール時に「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、以下の操作をしてください。
管理者権限 (Administrator権限) のあるユーザーの場合は「続行」ボタンを、
管理者権限 (Administrator権限) のないユーザーの場合は、管理者権限 (Administrator権限) のあるユーザーを選択し、パスワードを入力してから「OK」

ボタンを選択してください。

- ・ Microsoft .NET Frameworkをアンインストールするときは、ScandAll PRO Liteをアンインストールした後に実施してください。
-

4. 注意事項

1) 動作環境について

- 本ソフトウェアは、ターミナルサービスクライアントおよびリモートデスクトップ接続クライアントでの動作は保証していません。
- 本ソフトウェアをご使用になる場合、ディスプレイはハイカラー以上の設定でご使用してください。256 色以下では表示が乱れる場合があります。
- ScandAll PRO Liteをインターネットに接続できない環境で起動すると、Microsoft(R) Internet Explorer の設定によっては起動時間が長くなります。起動時間が長い場合は、Microsoft(R) Internet Explorer の[ツール]->[インターネットオプション]の[詳細設定]タブにある、[発行元証明書の取り消しを確認する]のチェックを外してください。

2) サポートドライバについて

- 本ソフトウェアは、Fujitsu製fiシリーズスキャナに対応しております。別途対応したデバイスドライバをインストールしていただく必要があります。
- WIAドライバ、およびISISドライバを使用した読み取りをサポートしていません。読み取りを行う場合は、FUJITSU TWAIN ドライバを選択してください。

3) Microsoft SharePoint Serverを使用する場合

- Microsoft SharePoint Serverとは以下の製品を示します。
Microsoft Office SharePoint Portal Server 2003
Microsoft Office SharePoint Server 2007
Microsoft SharePoint Server 2010
- Microsoft SharePoint Serverがインストールされているコンピュータで“ScandAllPROSrv.exe”を実行してください。
- 本ソフトウェアのインストールを実行する前に、.NET Framework 2.0以降をインストールしておく必要があります。
.NET Framework についてはMicrosoft のホームページより入手してください。
- Webパーツを使用しているときに、Windowsの[デスクトップの表示]を実行すると、画面を元のサイズに戻せなくなる場合があります。Webパーツを使用しているときは、[デスクトップの表示]を実行しないでください。

4) 印刷について

- 印刷を行うときに、印刷形式に“実際のサイズ”を設定しても、プリンタ装置で印刷可能範囲が限定されるため、印刷結果が読み込んだイメージと異なります。
- 印刷時に[印刷部数]を指定しても、お使いのプリンタドライバによっては部数分印刷されない場合があります。

5) JPEG2000について

- ScandAll PRO Lite 以外のソフトウェアで作成したJPEG2000の場合、解像度が正しく表示されません。

6) Webパーツについて

- Webパーツのテンプレートのファイル形式に「Adobe PDF」を指定しスキャンした場合は、TIFFファイルとして保存されます。

- Webパーツからスキャンする場合は、TWAINドライバのオプションを設定することができません。
- Webパーツのテンプレートのファイル形式に「Multipage TIFF」を指定しても、フラットベッドの場合は1ページのみ保存されます。

7) 読み取り結果報告について

- 連続で複数ページを読み取った場合、最後のページの読み取り結果が読み取り報告に通知されます。

8) メール送信について

- [スキャン]-[メールで送信]を実施するとメールソフトが起動され、メール送信画面が表示されます。その送信画面でメール送信する前に、ScandAll PRO Liteでその他の操作を行わないでください。メールソフトによってはメール送信に失敗する場合があります。

9) 画像処理ソフトウェアオプションについて

- 画像処理ソフトウェアオプションの画像タイプに“二値”以外を指定しても、ScandAll PRO Lite の[読み取り結果報告]の「色」項目の値は“Black&White”となります。

この製品は、以下のコンポーネントを使用しています。

LEADTOOLS, LEADTOOLS JPEG 2000 Plug-In
Copyright (C) 1991-2001 LEAD Technologies, Inc.

-
- ・ Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ Intel、および Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
 - ・ ISIS は、EMC Corporation の米国における登録商標です。
 - ・ その他の一般製品名、社名は各社の商標または登録商標です。